

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市南区相模大野3丁目計画新築工事	階数	地上15F
建設地	相模原市南区相模大野三丁目318番5外	構造	RC造
用途地域	商業地域・防火地域	平均居住人員	476人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2016年10月17日
敷地面積	1,952 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,008 m ²	確認日	2016年10月17日
延床面積	10,844 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 69% (127 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 69% (127 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 69% (127 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 まちづくり事業のコンセプトを基に地域商業の活性化と自然豊かな街並みに溶け込むよう配慮した。		0
Q1 室内環境 ・二重壁によりDr値50を確保。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計の70%以上の面積に採用。	Q2 サービス性能 建物全体のコンセプトや機能、快適性に配慮している。 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を満たす。 ・住居部分の天井高2.5m以上。	Q3 室外環境(敷地内) 景観計画区域内の基準に基づく色彩配置としている。
LR1 エネルギー 外皮等に2方向面することで有効な採光・通風が確保されエネルギーを有効活用できるように配慮している。 ・断熱等性能等級4を満たす。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラスを採用。	LR2 資源・マテリアル 二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。	LR3 敷地外環境 駐輪場100%を確保した上、バイク置場を設置することで周辺の交通負荷軽減に配慮している。 ・ディスプレイ設備を採用。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される